



# 学校だより 7月

横浜市立新井小学校  
No. 535  
令和5年6月30日  
TEL 383-3455  
FAX 381-7372

(URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/arai/>)

## できることを考えて

校長

毎日蒸し暑い日が続き、梅雨明けが待たれます。学校では、子どもたちの水泳学習が始まっています。今年の夏は各学年とも10時間程度の水泳学習を予定しています。担任指導のもと、ルールを守って楽しく学習に臨んでいます。

希望制ではありますが、夏休み前の保護者面談も始まりました。短い時間ですが、学校と家庭でお子さまの事について共有する有意義な時間にしたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

6月22日、保土ヶ谷公会堂で保土ヶ谷区の「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト」が開かれ、本校の代表として6年生の児童が出演しました。スピーチ内容の一部を紹介します。

### 貧困をなくすためには

私が貧困について考えたきっかけは、地球という一つの星を見た時に、約7億人もの人たちが苦しんでいると知り、自分にも何かしたいなと思ったからです。

今、貧困が起きると飢餓の他にも教育格差や医療格差といった様々な問題も起こってきます。このような現状や事実があるにも関わらず貧困に目を向けたことのない人がたくさんいると思います。

(中略)

この現状から自分たちができると思われる行動は、3つあります。1つ目の取り組みは、世界中の人に貧困を知ってもらうことです。例えば、ポスターをはることによって、貧困についての現状を知り、一人ひとりの力が集まれば小さな力を大きな力に変えることができます。

2つ目の取り組みは、一人ひとりの力をかりて困っている人を助けることです。そして自分たちにできることは、買い物に行った時五円以下のお釣りをすべて募金する取り組みです。具体的に、もし一年間新井小学校の全生徒が毎日欠かさず五円ずつ募金をすると約五十万円にもなります。なので、一人ひとりに協力や理解をしてもらうことが大切です。

3つ目は、必要最低限の買い物にすることです。そうすることで今まで捨てられていた物を他の貧しい国の人たちに送ったり、使わなかった分のお金を寄付することで教育を受けられるようになったり、飢餓で苦しむ人を助けることができると思います。この3つをすることが現状や問題点の改善につながるのではないかと思います。

国際平和のために、自分にできることは何かを一人ひとりが考えて行動に移していきたいですね。もうすぐ夏休みです。怪我することなく、暑さに負けず健康第一で過ごし、元気に夏休みを迎えてほしいです。